

「エイムing」2016年度活動報告

1、バリアフリー上映会開催(7作品 14回)

- ・「海よりもまだ深く」(2016年6月11日 TOHOシネマズ天神ソラリア館)
- ・「なつやすみの巨匠」(2016年8月27日 プラザ主催 ふくふくホール)
- ・「はなちゃんのみそ汁」(2016年9月22日 アジアフォーカス福岡国際映画祭)
- ・冬の小鳥 韓国映画 (")
- ・「徘徊・ママリン87歳の夏」(2016年10月1日 朝倉・全国巡回)
- ・「海よりもまだ深く」(2016年12月10日 ふくふくプラザまつり ふくふくホール)
- ・「ちょき」字幕制作(関西音声グループ依頼 12月データ提供)

KOS関西音声サポートの依頼で字幕制作 オペレーター協力

- ・「岸辺の旅」(2016年12月23日 KBCシネマ)
- ・「はなちゃんのみそ汁」(2017年1月8日 鳥栖)
- ・「徘徊」(2017年2月22日 ふくふくホール) 他市内2カ所 市外2カ所

*主な活動内容

字幕、音声ガイドの制作、音声ガイドのオペレーター及び視覚障害者の動員、介助などを行った。

2、会議

①例会

毎月第1土曜日に例会を実施した出席人数は毎月25名ほどだった。

全体の会議後、各チームに分かれて研修会

字幕・音声編集・ナレーション(音声ガイド)・シナリオ制作編集など

②運営委員会(役員)

- ・6月4日(土) 2015年度総会準備打ち合わせ
- ・10月15日(月・祝) バリアフリー上映会の打ち合わせ
 - ① 12月10日(土) プラザまつり「海よりもまだ深く」
 - ② 12月23日(木・祝) KBCシネマ「岸辺の旅」
 - ③ 2月～3月の「徘徊」と「はなちゃんのみそ汁」について
- ・1月22日(日) バリアフリー映画支援ボランティア養成講座の準備について協議
上映予定の映画のリハーサル7月～12月まで毎週1～2回実施

3、総会&研修会

2016年6月25日(土)

2015年度のまとめと映画祭、バリアフリー上映会の打ち合わせとデモンストレーション

2016年度の活動について

各チームの活動紹介(デモンストレーション)

4. 特別共催

- ◆「アジアフォーカス福岡国際映画祭 9月22日（木・祝）
会場 ユナイテッドシネマ キャナルシティ13
「はなちゃんのみそ汁」（ロケ地福岡）
「冬の小鳥」（韓国映画）
- ◆社会福祉協議会 バリアフリーイベント…ふくふくホール
「海よりもまだ深く …12月10日
- ◆KBC 開発 KBC ラジオ・チャリティミュージックソンの一環として
上映会／「岸辺の旅」 12月23日（金・祝） KBC シネマ
2月23日にKBC開発において「引き渡し式」を行った

5. ユニバーサル都市福岡賞 2016年

8月19日が締切で「みんながやさしいユニバーサルシアターの輪をひろげよう！」として応募し、2016年の福岡賞「みんながやさしい部門」の優秀賞に選ばれた。10月30日（日）大丸パサージュ広場で、13：30から表彰式が行われた。

6. 字幕チーム

【メンバー構成】

チームメンバーは、現在休会中、他のチームとのクロスオーバー組を含めて10名。
定例会に参加し、実際に字幕制作に関わっているのは、5名。

【定例会】

毎月第1土曜日のエイムingの定例会後に、チームミーティング実施。
定例会等の開催予定や内容の報告はメールで行っている。

【字幕制作】

- 1) 「はなちゃんのみそ汁」
- 2) 「徘徊」
- 3) 「ちょき」
- 4) 「岸辺の旅」
- 5) 「なつやすみの巨匠」（2016年度制作作品の手直し）

【イベントなどへの参加】

◎チームとして参加

- ・8/27 「なつやすみの巨匠」 字幕上映
- ・2/4・5 バリアフリー支援ボランティア養成講座での実技サポート
- ・副音声チームの視聴会での字幕上映 9/18「徘徊」 1/22「岸辺の旅」

◎個人レベルで、エイムingが関わっている行事に、ボランティアスタッフとして参加

- ・9/22 福岡アジア国際映画祭
- ・12/10 ふくふくプラザみんなでふくし
- ・12/23 KBC チャリティ映画上映会

【感想や課題など】

◎家庭の事情などにより、在籍していても、定例会に出られなかったり、字幕制作・上映に関われないメンバーの割合が高い。台本から字幕制作を作っていくPC作業は、難しいものではないが、エイムingで制作経験がある方が、細かな配慮などできるため、即戦力という意味で、この休暇中の存在は重要だと思っている。一方、新入者の養成も進めており、2016年度入会のメンバーは、質の高い字幕を作れるまでになった。

◎ライブで字幕を投影する機会が減少していることが、士気の低下や、退会の要因になっている。対策としては、

- 1) 字幕チームのみではなく、他のチームの活動にも参加する。
- 2) 今後、字幕をDVDに書き込むタイプにも対応できるように備えて、基礎となる原稿ととらえ、制作数を積み上げていく。
- 3) ライブ上映ができる環境を自分たちで作る。例えば「勉強会」とか「モニター会」などの形で、著作権の問題がない過去の映画に字幕をつける。
等が検討されてきたが、現況では、3) については、実現の見込みは薄い。2) については、書き込みソフトの導入に向けて、その分野に強いメンバーが研究中。

7. 音声編集チーム

・2016年度まとめ・・・完成作品

『夏休みの巨匠』

『徘徊ママリン』

『はなちゃんの味噌汁』

『岸辺の旅』